

玉川教会たより

日本基督教団玉川教会
町田市玉川学園 4-5-32
電話 042-732-9321

「安心しなさい。わたした。恐れることはない」

(マタイによる福音書 14章 27節)

「新任のご挨拶」

今年度4月より玉川教会の牧師として赴任いたしました衛藤満彦です。どうぞよろしく
お願いいたします。

これまでに大阪の堺教会、青森の青森戸山教会、北海道・釧路の春採教会に遣わされ、
今年で15年目となりますが、いかんせん「南」の生活は大阪以来12年ぶりとなりますので
「寒冷地仕様」となってしまった体をどのように順応させていくのかが一番の心配です。

そんな心配はありますが、しかし、これまで教会の牧師としての歩みは、間違いなく神
さまの祝福に満ちていたものであると思います。旧約聖書コヘレト書3章に

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある」

とありますが、「時」に適った導きを与えられ「時」が満ちたことによってこの玉川教会
へと遣わされてきたのだと確信しています。様々に欠けのある者であります、主の御委
託に応えるために出来ることをしてまいりたいと思います。

さて2018年度の歩みがはじまりましたが、「歩み」を始める前には色々と準備をし
なければいけません。どこかに旅行に行くとするならば、目的地までの道のりを調べたり、
目的地での過ごし方を検討し、宿泊施設の予約を取り…といったように、その準備が整
っていれば整っているほど充実した時間を過ごすことが出来るようになります。そう考え
ると、準備をすることはもうすでに旅を始めているのと同じであるのかも知れません。

しかし、その準備が何か焦りの中で行われたり、何か不安の中で行われていたらどうで
しょうか。たとえ、良い準備のための情報が目の前にあったとしても、最も良い選択をす
ることが出来なくなるのかも知れません。焦りのために何か手順を間違ってしまうことが
起こってくるのかも知れません。ですから、まずわたしたちが「安心」し、「恐れず」に
いることが全ての「歩み」において大切なことになるのです。

マタイ14章27節の聖書の言葉は、イエス様なしで弟子たちが船を漕ぎ出し、嵐に遭
ってしまった時に、弟子さん達に向かって語られた言葉です。導き手を失って不安になっ
ていた彼らの心をお見通しだったイエス様は何よりも大切な言葉として、「安心」し、「恐
れず」にいることの大切さをお伝えになったのです。

新たな歩みを始める時、様々な不安がよぎることがあります。しかし、それ以上にイエ
スさまが共にいて下さり、わたしたちに安心を与えて下さる方であることをこの御言葉か
ら覚え、この一年のわたしたちの歩みが「安心」し、「恐れず」に成されていくことが出
来るようにと、心から祈りつつ始めてまいりたいと思います。